

					(別紙3)
	公表 事業所における自己評価総括表 (児童発達支援)				
○事業所名					
さんSUNアフタースクール大阪狭山					
○保護者評価実施期間					
2024年4月1日 ~ 2025年3月31日					
○保護者評価有効回答数					
(対象者数) 1 (回答者数) 1					
○従業者評価実施期間					
2024年4月1日 ~ 2025年3月31日					
○従業者評価有効回答数					
(対象者数) 5 (回答者数) 5					
○事業者向け自己評価表作成日					
2025年5月2日					
○分析結果					
	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること		工夫していることや意識的にやっている取組等		さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちが笑顔いっぱい楽しく過ごし、たくさんの経験を通して、いろいろな事に興味を持ち、チャレンジする気持ちが増え、子どもたちの「できた!」が増えていくような活動や環境を整えています。		職員全員が明るく・楽しく・元気に子どもたちや保護者の方と関わることを意識しています。その中で子ども達1人1人の「たのしい」を見つけていき、個々に合わせた関わりをおこなっています。		子ども一人ひとりの発達特性に応じ、積極的に活動に参加できるようにし、楽しみながら活動に参加できるようにしていく。
2	活動プログラムが固定化されず、お子様の強みや課題にねらいを合わせた支援内容を提供しております。室内での活動だけでなく、屋外での活動を取り入れ、様々なことを経験できるようにしています。		一人一人の強みや課題に合わせ、ねらいを明確にした活動を提供しております。長期休暇等のお出かけは公園や施設見学等に行き、順番やルール等日常生活で必要な知識を身に付けることができるよう取り組んでいます。		新しい経験ができるよう、これまでやったことのない活動も積極的に取り入れていきたい。総合的な発達支援を色々な方向から行えるように、職員同士での話し合いや情報交換を更にしっかりと行っていこうと思います。
3	就学に向けた移行支援として、利用者の希望に合わせて放課後等デイサービスの時間帯での支援を行っております。		就学前のお子様に向けて、移行支援として小学生との交流が持てるよう支援しております。児童発達支援から放課後等デイサービスへ継続して利用されるご家庭も、慣れた環境があることが安心材料となってくれたらと思います。		今後も就学前の情報交換を行えるようにして参ります。指導員だけでなく小学生のお子様を持つ保護者からの経験談を聞くことで、就学前の不安が和らぐような場となるようにして参ります。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること		事業所として考えている課題の要因等		改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者への研修の周知や保護者会が開催できていない。		日程調整や保護者の望むテーマや内容を絞ることが難しい。交流の機会を求める声と、現状で満足との意見が分かれるため、ニーズに応じた柔軟な対応が求められています。		保護者の皆さんのニーズに応じた開催方法を検討し、家族支援や兄弟児を含めた家族交流の機会を作れるように努めます。
2	各マニュアルを作成しており、保護者様に防災訓練の実施についてもお伝えしておりますが、具体的な内容が伝わっていない部分があります。		事故防止や感染症対策等のマニュアルは用意しており、避難訓練も定期的に行ってはいるが、周知説明に関しては不十分であった。		マニュアルがあることや内容については必要な情報を契約時に伝えたい。また、避難訓練の様子やマニュアルの改訂時にはおたより等で案内致します。
3					